

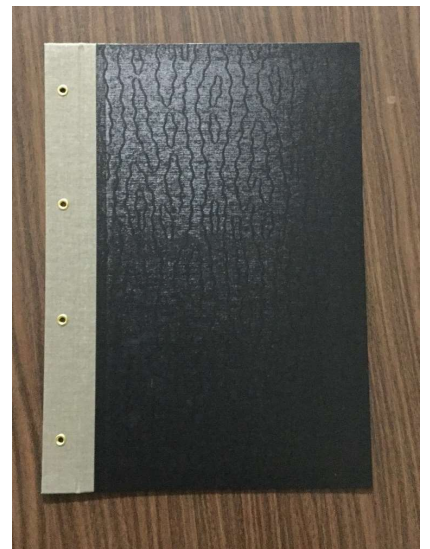
黒表紙のおススメ製本方法

法文学部 D3

卒論を書き終わった後・・・

大学生活の集大成とも言える卒業論文。その完成はひとしおで、卒業後も実家や自分の家で保管している人は多いと思います。最近はファイルやデータでの提出も増えてきていますが、完成した卒論を製本する時に使われるのが4穴綴込表紙(通称：黒表紙)です。

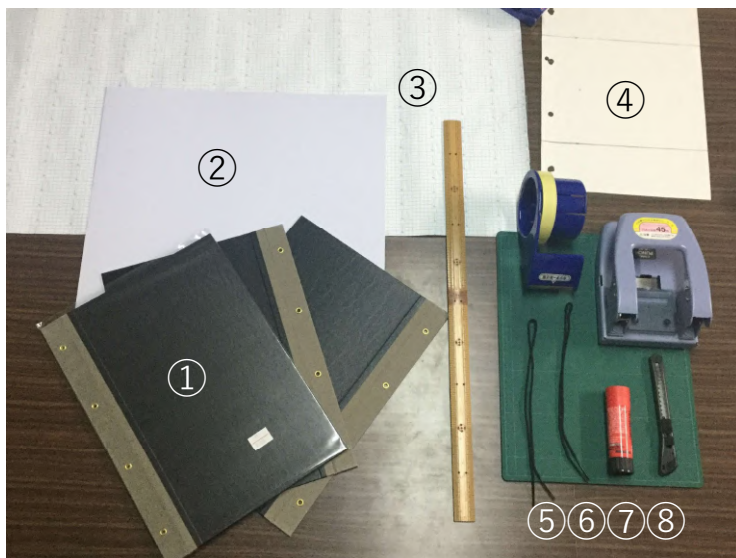
生協や文具店で売られているこれ→



ただ、市販の黒表紙には製本の仕方や必要な道具など説明書の類は付いていません。自力でなんとか製本することも可能ですが、折角なら綺麗に作りたいですね。

卒論が書きあがってからバタバタしなくていいように、ここでは私のおススメの製本方法を紹介したいと思います。

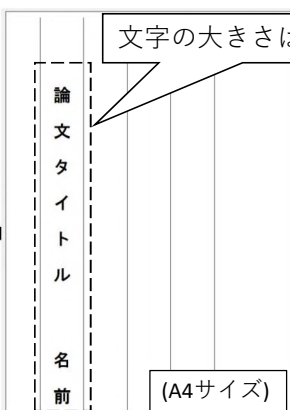
※なお、ここでは紹介するのはA4版四穴黒表紙の製本方法です。



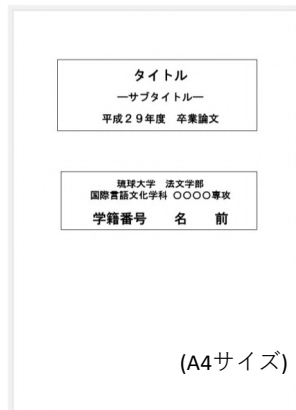
用意する物

- ①黒表紙(提出冊数分)
- ②厚紙(A3サイズ 445×306mm)
- ③カバーフィルム(無くてもよい)
- ④穴あけ用台紙(A4)
- ⑤透明テープ
- ⑥パンチ
- ⑦カッター、のり、定規
- ⑧付属のひも
- ⑨背表紙用Excelデータ
- ⑩表紙用Wordデータ

⑨(背表紙)Excelで作成↓



⑩(表紙)Wordで作成↓

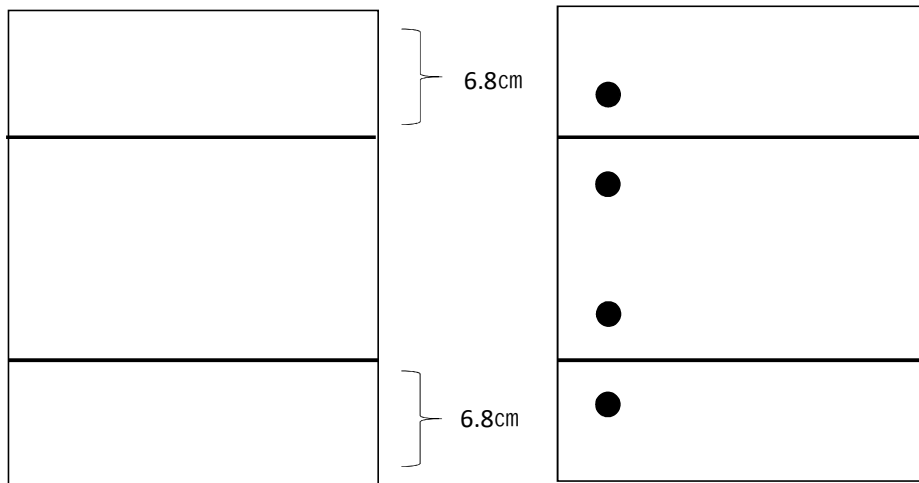


⑨⑩については、文字サイズや書体など自分で完成形を想像しながら作っておく。

※⑨背表紙のデータはExcelでページの上から下までのセルを作り、縦書きに設定した上で必要事項を入力していく。この時、「タイトル」と「名前」のセルを分けて空白を調整してもよい。印刷して余白を切り取る。

※⑩表紙の記載事項は学部で指定されている場合があるので、シラバスを要チェック！！

手順(1) 穴あけ用台紙(前頁④)を作る → 穴あけ



- ・ 2本引いた線にパンチの中心を合わせることで、丁度いい場所に穴をあけることができる。
- ・ 本文の上に台紙を重ねてドンドン穴を開ける。



手順(2) 背表紙を作る

- ・ ②の厚紙から必要な幅を切り出す

X . . . **最低 5 mm**

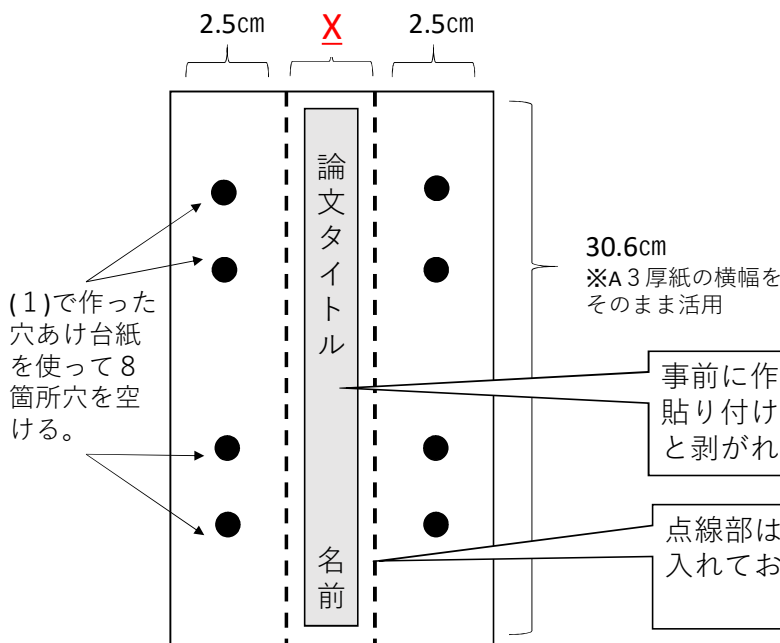
※卒論のページ数によって変動。

60 ページ以下 . . . 5 mm

10 ページ増えるごとに + 1 mm

例) 70 頁 . . . 6 mm

130 頁 . . . 12 mm (1.2 cm)



事前に作っておいた背表紙用の⑨をノリで貼り付ける。上から透明テープで補強すると剥がれづらくなる。

点線部は内側に**軽く**カッターで切れ込みを入れておくと折り曲げやすい。
※軽くしないと千切れます。

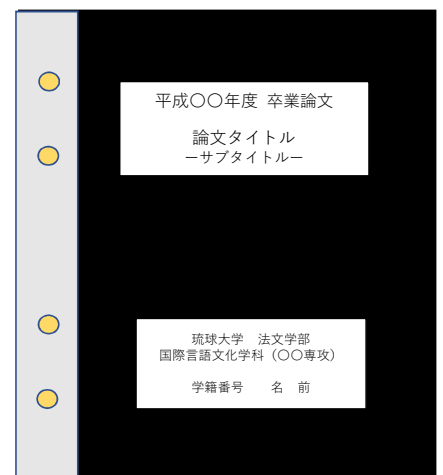
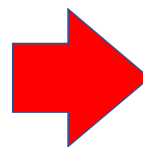
手順(3) 表紙を作る



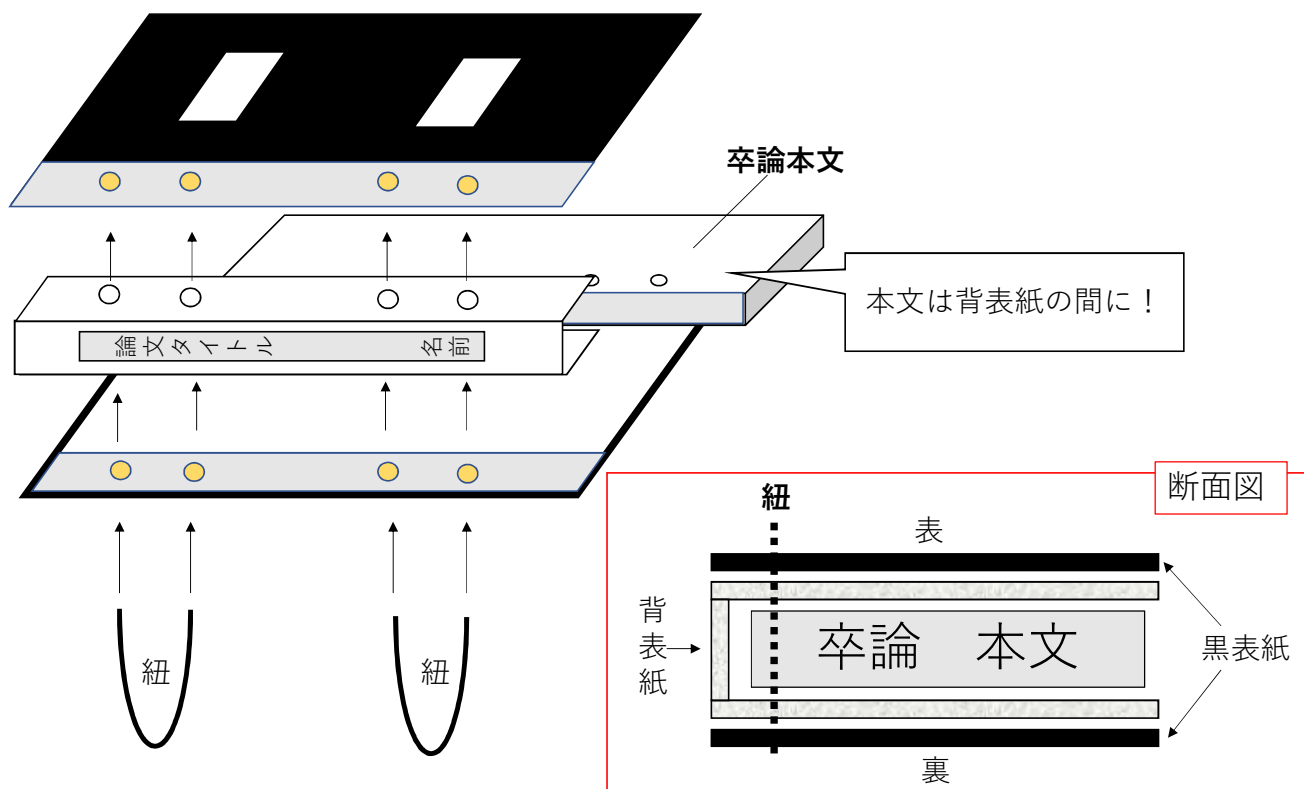
⑩から必要な部分を切り取り、黒表紙(表)の適切な箇所にのりで貼る。

少し大きめに切り取った③(カバーフィルム)を上から貼ると、剥がれづらくなるよ!

※③の目安は+5mm程度



手順(4) 組み立て



・下から **黒表紙(裏)** → **背表紙(裏側)** → **本文** → **背表紙(表側)** → **黒表紙(表)** の順に付属のひも(⑧)を通していく。

・表側で紐を結んだら**完成!!!**

手順(5)

指定された提出場所へダッシュ!!!



卒業
EXIT

さいごに・・・

- ・黒表紙は早めに購入しておきましょう。**12月に入ると生協でも売り切れることがあります。**
- ・製本の時間も考えて、卒論は早めに仕上げるように努力しましょう。
- ・一生モノになるので、**なるべく丁寧に**作業はしましょう。
- ・複数人で協力して作業をすると効率よく出来上がります。

苦勞して書いた卒論を締めくくる作業なので、これを参考に綺麗な製本を皆さんやってみてください!